

アクティブラーニング

2年 生物選択者

3人1班になり、それぞれ別のテーマを調べました。調べた内容は先生役になり、15分間班員に授業を行いました。

<1>

ヒトゲノム

遺伝子多型(SNPなど)

DNA鑑定

<2>

クローン

DNAマイクロアレイ

キメラ

<3>

iPS細胞

医療への再生

ES細胞



周りの人が先生になるという機会が全くなかったのが、新鮮で楽しかった。自分では理解できていると思っていても、相手に伝えることの難しさや予期しない質問がきたときの対応が分からなくて苦戦することがあった。でも、自分の説明に反応や質問をもらえるのが嬉しかったので、もっと理解を深めようと思った。

2年 和田 萌花(飛幡中学校出身)



相手に分かりやすく授業するためには、まず自分が理解し、様々な知識を身につけておかないといけないことが分かりました。大変でしたが、自分が調べた分野については普段より深く知ることができたので、とても為になりました。また、授業をするためには聞く側のリアクションも必要なのだということも分かりました。班員のリアクションで「聞いてくれている」ことが分かり、安心して授業ができました。

2年 奥田 愛弓(木屋瀬中学校出身)

発表用のプリントは、どうしたら相手に伝わるかを考えながら作りましたが、いざ授業をしてみると自分がよく分かっていなかったところを指摘され、説明ができなくなりました。先生のようになんでも知っている人は本当にすごいなと思いました。友達の発表は頑張りがとてもよく伝わってきて、自分も理解しようという気になりました。キメラが特に興味深かったです。またこのような時間を作りたいと思います

2年 久野 聖(香月中学校出身)

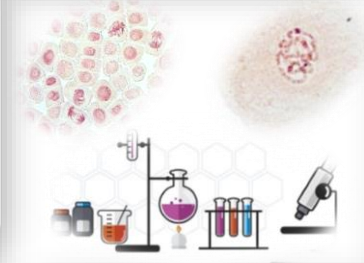
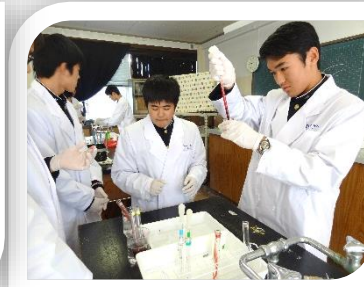
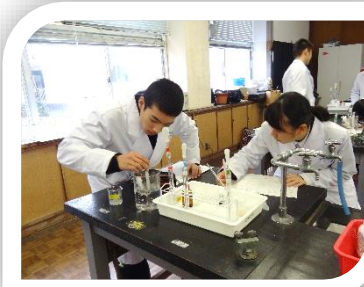


授業をすると聞いて、とても緊張しました。プリント作成も難しく、特に遺伝子多型のところが伝えにくくて大変でした。先生のすごさが分かりました。授業の時に2人からの質問に答えることができたので良かったです。2人の授業も分かりやすく、頑張って教えてくれているのが伝わりました。これからもっとDNAやニューロンなどについて調べて知っていききたいです。

2年 前村 果歩(高見中学校出身)



1年間の実験を振り返って...



私の出身中学校では3年生のとき実験が一度もなく、理科好きの私にとってはとても残念でした。だから八幡高校理数科に入ったといっても過言ではありません。高校での実験はとても楽しい!と思いました。一番印象に残っている実験は、ユスリカの唾腺染色体の観察実験です。習ってはいるけど見たことはない、まるで架空の存在であった染色体を見るということは、八幡高校に受かった時ほどの衝撃でした。一年間ありがとうございました。生物を極めたい。

2年 廣瀬 太河(思永中学校出身)

私が、八幡高校に入学したかった理由の1つに「実験」がありました。実験は楽しみながらも心身で学べる授業なので楽しみでした。しかし、実際に実験してみると、見慣れない器具や高価な器具があり、ほとんどの実験が1人で行うので、とても緊張しました。実験前に何度予習をしても、初めて使う器具や薬品を目の前を見ると、頭が真っ白になってしまいました。しかし、先生方が丁寧にサポートしてくださったおかげで、よい経験がすることができました。また、生き物の命をいただいて実験することもあるので、その経験をきちんと身につけて、今後の生活や勉強に活かしていきたいです。

2年 鬼田 年敦(小倉日新館中学校出身)

生物分野の実験は2年生になって初めてでしたが、中学校の実験とは比較できないほどレベルが高かったです。というのも中学では先生が生徒と一緒に手順を確認しながら実験を進めていましたが、高校では注意事項を確認して、その後は自主的に実験を行ったので、とても科学者らしいことをしているという実感が湧きました。生物の実験では、自分達の生体内を知るための血液凝固、アルコール発酵、酵素、唾腺染色体などの実験。科学者としての一歩を踏み出すためのフレイバート実験など行いました。やはり座学で学んだものを実験で確認できるのは、自分の頭の整理もでき、より生物への関心・興味が沸きました。3年生になっても積極的に実験を行いたいです。

2年 杉岡 拓海(浅川中学校出身)